

はじめに 科学研究者は国立公園の鹿である

11

第1章 日本の科学研究者

1-1-1 科学研究者になる人たち

a .. 科学研究者は天職か b .. 科学研究者の履歴書以前 c .. 教科書秀才に未来はない

16

1-1-2 科学研究者の生態

a .. 経済効率の宿命——民間企業の研究者 b .. 自由が抱える厄介な問題——大学の研究者 c .. 学者か研究者か? d .. 官庁のメンツと研究者——公務員研究者 e .. 研究よりは試験——工業技術センター f .. 望まれる補助研究者の養成

25

第2章 研究者の日常とステイタス

2-1-1 研究ばかりもついたられない

a .. 研究活動の社会的分類 b .. 研究と雑用の意外な割合 c .. 筑波在住の研究者の一日 d .. 一年のタイムテーブル

44

2-1-2 官尊民卑と民高官低

a .. トップになれない研究者 b .. 研究者の報われ方 c .. 東大

55

卒は本当に有利か d .. 研究者の第二の人生

第3章 人間的な、あまりに人間的な

3-1-1 研究所というムラ社会

a .. 予算は憲法である b .. 臭いものには蓋をしろ c .. 足を引っ張る人、スネる人

65

3-1-2 「ムラ」研究者の研究

a .. 上を向いて歩く研究者 b .. 管理職は高校野球がお好き? c .. 巧妙な拙速主義者たち d .. 研究者ムラにおける悪徳研究者たち e .. 東大法学部の危機

71

第4章 研究者として上手に生きる

4-1-1 実績の作り方

a .. 研究者の業績とは何か b .. 学術論文と審査の仕組み c .. アメリカの研究社会の大逼迫 d .. 学術論文を仕上げるコツ e .. テーマに困ったら f .. 特殊技能で勝負する

85

4-1-2 渡る世間の研究者

a .. トップネームをめぐる師弟の争い b .. 研究者の世界は狭い

101

——ケンカの相手が主治医 c…人脈の作り方(1) d…人脈の作り方(2) e…特許の上手な取り方

第5章 研究者の才能と幸運について

5-1 才能の活かし方

a…才能は危険である b…才能定年説と才能永久説 c…才能は社会環境のなかで花開く

5-2 幸運とのめぐり合い——幸運が生んだ科学史

a…セレンディピティ b…幸運な発見 c…準備が導く幸運 d…失敗は可能性の発見である

5-3 突飛なるもの正体

a…イカとゴキブリに幸運の女神は微笑むか b…ごみ総合研究所はなぜ存在しないか?

第6章 科学研究者になる方法

6-1 知って得する研究者への道

a…大学院卒が学部卒か b…K君の悲劇 c…企業研究者の共同研究と産学共同 d…工業高校から研究補助職 e…留学先で

6-2 研究者の鬼門

a…学閥はあるか b…企画室と安全管理部門 c…研究開発協力室と国際協力室

第7章 筑波研究学園都市のおかしな世界

7-1 研究学園都市のつくられ方

a 長谷川平蔵と田中角栄——無宿人集落からハイテク集落へ
b…研究者がつくばの政治に無関心なわけ c…研究者は地方政治の僕か d…机上の都市計画の盲点 e…国の無策が生んだ地域とのコミュニティ

7-2 公務員住宅の研究者たち

a…隣の花壇の研究者 b…公務員住宅の住みごこち c…公務員住宅に住むと出世しない?

7-3 研究学園都市の歪みと閉鎖性

a…女子大がないと街が廃れる b…高学歴都市つくばの教育問題 c…国際都市つくばの住みごこち d…セミナー活動——やっぱり気になる隣の芝生 e…研究交流会の理想と現実

7-4 つくばの「フ」い話

7-5 研究学園都市の歩き方

a .. 高エネルギー物理学研究所 b .. 北部工業団地の見識
c .. 西部工業団地、東光台研究団地 d .. 国立研究機関

第8章

エピソード——二十一世紀の期待される研究者像

8-1 化学物質の危機管理は可能か

8-2 適正規模の研究体制に向けて

8-3 研究所の合理化と生産性の向上

8-4 管理体制のスリム化

8-5 個人研究所は可能か

8-6 世界に開かれた国際的研究機関になるために

202 204 206 208 211 212

あとがき

184 187